

地球観測連携拠点（温暖化分野）の活動について

総合科学技術・イノベーション会議
(CSTI)

「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」
に基づく実施計画、実施状況の報告

文部科学省 科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
地球観測推進部会

地球観測連携拠点（温暖化分野）の
年度実施計画、進捗状況等の報告

必要に応じて、
年度実施計画・進捗状況等
に基づく助言・提案

地球観測連携拠点 (温暖化分野)

- ①観測データ・情報の収集、観測データの標準化、ニーズ集約
- ②データの統合化・利活用の促進、分かりやすい情報発信
- ③行動支援（多様なステークホルダーがデータを活用し、課題解決のための行動を取れるよう支援する。）

適応に関する研究
(モデル、影響評価等)
研究者

情報共有

気候変動情報基盤形成
**気候変動
適応情報
プラットフォーム**

運営

地球温暖化観測推進事務局

運営支援
実施計画作成
実施計画作成依頼

地球観測推進に関する
関係府省庁・機関連絡会議
(温暖化分野)

実施計画
の作成

地球観測
実施機関

助言

運営支援

地球温暖化観測・情報利活用
推進委員会

助言

専門的事項
検討依頼
検討事項報告

ワーキンググループ・検討チーム

研究委託
成果

政府の適応計画
国

連携

ノウハウの
フィードバック
支援

地方適応計画策定
**地方
公共団体**

利用・協力
適応行動支援
(情報提供)

指導
問い合わせ

気候変動適応情報プラットフォーム

- 気候リスク情報を集約し、各主体の適応の取組を支える情報基盤。
- 2016年8月に、関係府省庁が連携して構築。国立環境研究所が事務局として科学的にサポート。
- 2020年までに、アジア太平洋地域に拡大し、アジア太平洋適応情報プラットフォームを構築する。

(主な機能)

- ①情報基盤整備 : 気候変動や影響予測に関する科学的データの提供
- ②支援ツール : 簡易モデル、リスクマップ、優良事例等による適応支援
- ③人材育成 : 関係者との協働でのデータセット開発、専門家派遣等



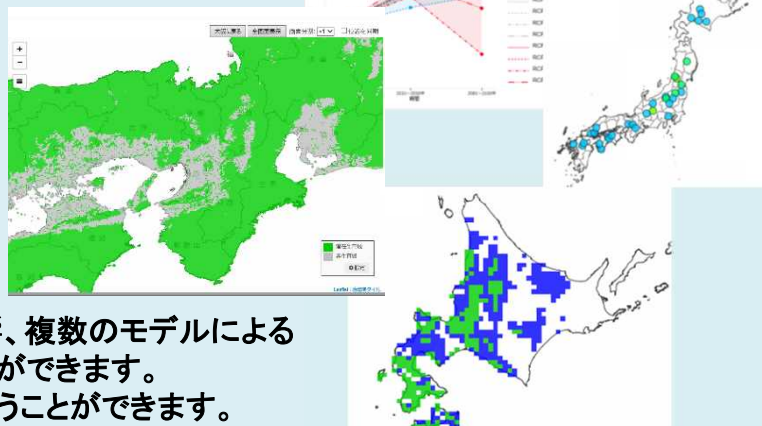
「気候変動適応情報プラットフォーム」 ポータルサイトの主なコンテンツ



全国・都道府県情報 ~適応策を検討する上で役立つデータを都道府県別に掲載~



都道府県名
をクリック



観測された気候変化、将来気候、気候変動影響、複数のモデルによる将来影響予測など最新のデータを参照することができます。
また、WebGIS化によりデータの比較を容易に行うことができます。

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/index.html>



政府の取組

- * 政府の適応計画
- * 研究調査結果の紹介



地方公共団体の適応

- * 適応計画策定ガイドライン
- * 気候変動影響関連文献一覧
- * 地方公共団体会員専用ページ



事業者の適応

「気候リスク管理」と「適応ビジネス」に取り組む事業者の取り組み事例を紹介します。



個人の適応

変化する気候に適応するための知恵と工夫を紹介します。

気候変動に適応して快適な生活を送りましょう!!

29年度に新設置する検討チームの概要

名称	背景	検討内容	本年度の予定
気候変動影響観測・監視の推進に向けた検討チーム(仮称)	「中間とりまとめ*1」の(1-1 継続的な気候変動及びその影響の観測・監視)において、「気候変動及びその影響の観測・監視の取組について体系的に整理し、戦略的に取組を進めていくための実行計画について、具体的な検討を進めることが適当である」とされた。	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動及びその影響の観測・監視に関する最近の取組の成果レビューと体系的整理 戦略的な観測・監視の取組を進めていくための実行計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家委員約10名を選定 年2回程度開催予定 年度末に中間的なとりまとめ
気候変動予測研究の推進に向けた検討チーム(仮称)	「中間とりまとめ*1」の(1-2 気候変動及びその影響の予測)において、「気候変動及びその影響予測研究の内容について体系的に整理し、調査研究で用いる予測計算における条件設定(予測の対象期間、排出シナリオ、気候モデル等に関する諸条件)、出力データの仕様、研究体制等の予測研究の進め方について、具体的な検討を進めることが適当である」とされた。	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動予測に関する最近の研究成果のレビューと研究内容の体系的な整理 調査研究で用いる予測計算における気候シナリオ等の条件設定の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家委員約10名を選定 年2回程度開催予定 年度末に中間的なとりまとめ
温室効果ガス観測推進に向けた国際イニシアティブに関する検討チーム	パリ協定や、2019年に予定されているIPCCガイドラインの改良及びGEO*2の動向を踏まえ、衛星・地上・航空機・船舶等での温室効果ガス観測データを、パリ協定に基づき各国が提出する温室効果ガス排出量の検証・精緻化に活用するため、「GEO炭素・温室効果ガスイニシアティブ」等の国際的取組を念頭に、今後の取組や計画等を関係府省・機関で検討・議論・情報共有する場を設けることとした。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の方向性(GHG観測データを各国がGHG排出量の精緻化に結びつけることを目指す)を示した文書の作成及び各国での活用につなげる取組の検討 IPCCガイドライン改良のタイミングで検証方法としてGHG観測データの活用を盛り込むための検討 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーは関係府省・機関から 年3回程度開催予定 年度末に中間的なとりまとめ

*1) 中央環境審議会 気候変動影響評価等小委員会「気候変動適応策を推進するための科学的知見と気候リスク情報に関する取組の方針」の中間とりまとめ(平成29年3月)

*2) 地球観測に関する政府間会合